

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名	所在地
日本環境倶楽部	東京都中央区日本橋浜町 3-35-5-703

代表
理事長 藤田 史郎

担当	連絡先
池田 隆	tel 03 - 3668 - 8933
	fax 03 - 3668 - 8934
	e-mail i ryu@qj8.so-net.ne.jp

団体の活動プロフィール

日本環境倶楽部は、平成7年に経団連の環境問題に危機感を抱いた有志による「環境技術研究会」として発足しました。その後日本環境倶楽部と名称を変え、平成13年3月には特定非営利活動法人として法人格も取得しました。定款第3条(目的)にも記載してある通り、環境問題の解決に企業・行政そして専門家のネットワークを活用して進めております。

民間営利団体ではない私達は、特定の環境問題に対する専門家を常勤スタッフとして擁し事業を行う訳ではなく、多くの人とネットワークを構築して必要に応じて有機的かつ戦略的な行動を心がけています。

環境問題の解決をさまざまな切り口から解決していこうと、問題の種類やそのアプローチ毎にメンバーを募集して研究会などを立ち上げ解決に向けた方向性を探るという方式を採用しています。

例えば、昨年度においては「IT革命と環境経営」をテーマに業種の異なる企業の方をメンバーに迎え研究を行いその可能性と課題を調査しました、また「食品リサイクル研究会」では、本年5月より施行された法律に伴う食品廃棄物の有効な減量化・リサイクル方法について先進事例などを元に研究しています。

また、毎月様々な角度から環境についての動向を少しでも多くの方に知っていただこうと環境セミナーを開催しています。(別紙参照：環境セミナーの実績と予定)

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

<p>(1) テーマ 地球温暖化の改善プログラムの早期着手。</p>
<p>(2) 政策対象分野 地球温暖化防止</p>
<p>(3) 政策手段 その他</p>
<p>(4) 提言概要</p> <p>(国民意識の醸成に向けて)</p> <p>地球温暖化問題は、私達そして私達の子孫にまで直接影響を及ぼす可能性のある非常に重要な問題であることは言うまでもありません。更に、現在考えられているその対策の多くは、産業界や私達の生活に関係してくるものばかりです。</p> <p>しかし、従来から政治の場で行われている政策審議のような場が無く、行政としての思惑、産業界としての思惑が議論されているだけです。</p> <p>本来的には、生活者である国民の声が反映されるべき所が、国民の利益を代表する者が不在という状態のまま議論ばかり行われ、対応が遅くなっています。(温暖化防止だけでなく多くの政策も同じなのですが)</p> <p>そこで、以下の提言をします。</p> <p><u>京都議定書の批准に関する国民投票を実施する。</u></p> <p>ただし、公的な位置付けや法的な意味合いを持たせた国民投票としなくとも、多くの国民の理解を得て、民意を聞き出すという目的でアンケート形式(地球温暖化防止で私達の得るもの、失うもの・・・)で行う事が現実的かと思えます。</p> <p>さらに</p> <p>現在行政で行われている委員会等は縦割りの要素が強く、省庁毎に検討を行っていたのでは、最終調整に時間を要し、結果的に対応が遅くなる恐れがあります。(現時点でも経済産業省と環境省で似通った委員会を開催しており、動向を見守る側としても混乱が生じています)地球温暖化問題は植林の可能性やライフスタイルの見直し等すべての省庁に関連性があります。</p> <p>そこで、以下の提言をします。</p> <p><u>タスクフォースとして全ての省庁を横断した委員会を設置する。</u></p>
<p>(5) 政策の推進に当たっての検討事項</p> <p>(課題)国民投票の代わりにWEBを通じてアンケート形式でキャンペーン的に行う事も可能と思われます。</p> <p>(メリット)国民全体に地球温暖化に対する「考え方」が浸透し、政策の実行時での障害が減少することが望めます。</p>